

2017 年 6 月 24 日 (土)  
武尊山 (ほたかやま、2,158m) ②

～Report by 高橋(雄)～

昨夜は 21 時頃までには就寝したので、朝早く 4 時頃には目覚めた。

いつもだと朝風呂するところだが、ロッジのお風呂は温泉ではあるが加温で、朝は沸かしておらず入れない。



04:40

朝食は 05:30 なので、それまで宿の周りをうろうろ散歩。

昨日見たのとはまた違った花々が目にとまった。↓



ペチュニア、パンジー



アヤメ



アリウム



キキョウの仲間？



？



ダイアンサス (ナデシコ)



マリーゴールド



ヒメジョオン



宿の中ではフクロウの置物やドライフラワーなどが目を楽しませてくれる。

なかでも 30cm ぐらいある大きな八重の柏葉アジサイ、「ハーモニー」のドライフラワーがあちこちにあって珍しかった。





5:30

朝食



サラダに卵焼き、揚げ出し豆腐、シャケ等々  
しっかり食べてエネルギー補給。



6:32

宿の前で写真を撮り、送迎バスで出発。  
緑ヤッケの背の高いお兄さんが宿のドライバーさん。  
登山口のオグナほたかスキー場に向かう。



通常はスキー場の下の駐車場（標高 1239m）  
から登り始めるのだが、今回は特別にリフト  
の上の方、標高 1646m まで、バスで一気に登  
ってもらう。標高差 400m、歩程で 1 時間ぐ  
らいかかるところを短縮できる。  
バスは四輪駆動。エンジン音をうならせて  
力強くスキー場の急坂を登る。



7:00

バスで登れる最高点、1646m 着。





お馴染み、岡部さん主導の準備体操をして



7:05

スキー場のゲレンデから登山開始。

足下には小さなマイヅルソウやタンポポが。



小蠅か、小さな虫がたくさん飛び回っていて、顔の周りにわんわん群がってくる。

鼻から吸い込んだり眼鏡の内側に止まったりしてうっとうしい。

池戸さんの防虫ネットが威力を発揮。

他の人は難儀。



スキー場のゲレンデから登山道に入った。

7:22

天狗尾根・スキー場への分岐。1782m。

ベニサラサドウダンが咲いていた。



見通しのいいところで振り返る。





急登が続く。  
ミツバオウレンが咲いていた。



リフトの最上終点の上まで来た。  
下のゲレンデのスタート地点が見える。



下界を見下ろして  
いる石像があっ  
た。

いろいろ花が目  
にとまりだした。

↓



イワカガミ発見。白花だ。



シャクナゲ



ゴゼンタチバナ





ちょっとした鎖場



またもや石像。

8:15 最初のピーク、前武尊(2,039m)山頂。高度差 400mを 70 分で登った。



日本武尊（ヤマトタケル）のブロンズ像を囲んで。

ここから先は高低差 100m前後をアップダウンしながらの尾根歩きとなる。





次のピークは剣ヶ峰だが、山頂への道は崩壊しているため、巻き道を進む。



ヤマザクラ



アカヤシオツツジ？

次々と現れる花を撮りながら・・・



ムシカリ



ミツバオウレンの群生



サンカヨウ



エンレイソウ



マイヅルソウ





巻き道ではあるが、岩をよじ登ったり、結構ハードなところもある。



赤いダニ（タカラダニ?）があちこちにうようよ  
 していて気味が悪かった。  
 しかしあとで調べたら人間には害はないらしい。



イワカガミの群生。やはり白花。

シャクナゲの群生



ロープ代わりに木の根に掴まって登ったりもした。



コゴミ?





残雪があった。

涼しいからかスミレが咲いていた。



花を撮ったりして遅れてしまった。

9:17

先頭の熊本さんはオンタイムで、もうすぐ家の串山頂上に着く。

岡部さん、池戸さんが後に続く。



後続組は 20 分遅れて

9:40

家の串山着。



家の串山の次は中ノ岳をめざす。

両側が切れ落ちているやせた岩尾根を慎重に進む。







ムシカリ



ショウジョウバカマの咲き残り



ミヤマダイコンソウ



10:21 後続隊が「中ノ岳南の分岐」着



同じ頃、先頭の熊本さんと岡部さんは中ノ岳～武尊山間の雪渓を渡り終え、武尊山の山頂間近に迫っていた。

熊本さんは 10:31、武尊山山頂着。ほぼ予定時刻通りだ。



山頂直下の日本武尊像



熊本さんの時計(2100 は標高)



武尊山山頂の看板





後続隊が中ノ岳から武尊山への雪渓にとりかかる。



しんがりは堀さん。ゆっくり登ってくる。



山頂の熊本さん

雪渓を越え、山頂への最後の登り。

山頂で熊本さんが手を振っている。

11:04 全員が登りきった。なにはともあれ登頂写真。



予定より 35 分遅れ。晴れているのはラッキーだが、暑くて池戸さんがちょっとしんどそう・・・



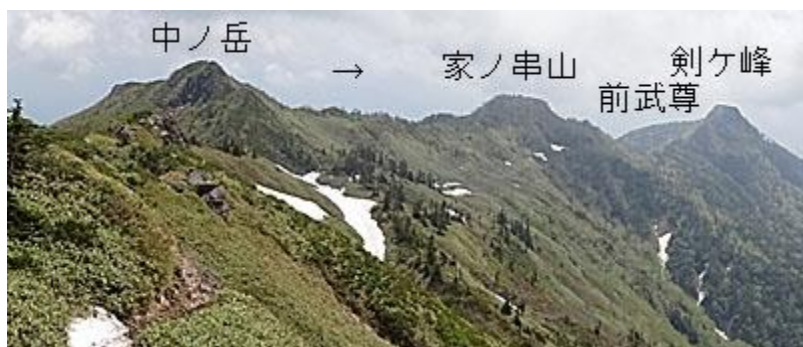


昼食。ロッヂ北澤のおむすび弁当。  
それに岡部さん持参のミニトマト。

なんと、ミニトマトは途中の雪溪の雪で  
冷やされていた！

晴れていて暑いところに冷たいトマトは  
この上ないご馳走。

岡部さん、ありがとうございました。



11:25 下山開始。

予定より 25 分遅れ。

中ノ岳→家ノ串山→剣ヶ峰→前武尊  
と来た道を戻る。



先頭は熊本さん、岡部さん

その後に池戸さん、小野寺さん、吉松さん  
堀さん。最後に私。



11:54 一番最後の私が「中ノ岳南の分岐」着。  
先行するみんなは誰もいない。

当然、前武尊に向かっているに違いないと  
信じて私も前武尊方向へ進む。





12:14 家ノ串山へのヤセ尾根を歩く先行部隊が見えた。

カメラの望遠でとらえると、小野寺さんが前で、吉松さん、池戸さんと続いている。

熊本さん、岡部さんは小野寺さんよりもさらに先行しているようだ。

堀さんも見えない。

するとほどなくして私の携帯電話が鳴った。出てみると、「堀です。どうやらミスコースしたようで、武尊牧場の方へ向かってるようだ。だいぶ来てしまった。」とのこと。戻るか、このまま武尊牧場に向かうか迷っている由。さっきの「中ノ岳南の分岐」で間違えたらしい。私はえ〜！！と思ったが、武尊牧場へのコースは長いし、武尊牧場にバスを回すのも困難そうで、時間が余計にかかりそうだ。即座に「ダメです。戻ってください。家の串山で待ってます。」ときっぱり。堀さんはしんどいだろうとは思ったが、戻ってもらうことになった。

堀さんがミスコースしたことを、先頭を歩いているであろう熊本さんに知らせようと電話したが、呼び出し音は鳴っているようだが、いっこうに出ない。数回トライしたがダメ。

（あとで聞いたら山の上は電波が通じないだろうと思ってスマホは宿においてきたとのこと。

実際は今回のコースでは、私のスマホ（docomo）は確かに電波が弱くてつながりにくい所もあったが、武尊山頂はもちろん、ほとんどのところでつながり、メールの着信音がしょっちゅう鳴った。麓にスキー場が3カ所もあり、その電波が飛んでくるからではないかと思う。堀さんと通話できたのは幸いだった。

携帯電話は万一の遭難時にも通信手段として役立つかもしれないし、登山時には必ず携行して電話に出られるようにしておきましょう。

ちなみに、後で調べてみたら、docomoの山での携帯電話通話領域拡大についての取り組みは

<https://www.nttdocomo.co.jp/support/area/mountains/>

で、その中で武尊山の今回の登山道については

<https://www.nttdocomo.co.jp/support/area/mountains/individual/index.html?id=hotakayama>

とあった。実際にその通りだった。）

そして私は家ノ串山に12:26に着き、そこで堀さんを待つことにした。

家ノ串山では池戸さんだけが休んでいた。他のメンバーは先に進んでいていなかった。池戸さんは疲れていてゆっくりしか歩けないので先に進むとのことで出発し、私だけが残った。

私は堀さんを待つ間、ロッヂ北澤に電話して、ミスコースがあったことを伝え、14時に頼んでおいたオグナほたかスキー場への迎えのバスを、15時に遅らせてもらった。

堀さんを待っていたが、30分たってもまだ来ない。その間に堀さんに3回電話してみたが出ない。ヤセ尾根で足を踏み外していたりしなければいいが・・・と心配になる。

中ノ岳方面から来た人がいたので、堀さんらしき人をみかけなかったか尋ねてみたら、「あとから来ているよ。」とのこと。実はその人も我々と同じコースで、オグナススキー場の下の駐車場に車を駐めていることがわかった。その人が帰路の「中ノ岳南の分岐」で、分岐の標識の前で昼食を摂っているグループがいて、標識に気づかず、武尊牧場のほうへ進んでしまった由。堀さんもその人のあとにくっついていったらしい。

そして、来たときにはなかった急な鎖場に遭遇し、堀さんがミスコースに気づいて私に電話したのだそうだ。

一緒に引き返したが、堀さんはゆっくり歩いているので先に来たとのこと。



さらに待つこと 10 分。合計 40 分待って、13:06 堀さんが家ノ串山に現れた。無事でほっとした。



先頭の熊本さんが家ノ串山に着いたのは 12:17。

←この写真を撮ったのは吉松さんで 12:22。  
ここで先頭の熊本さん・岡部さんに、吉松さん・小野寺さんが追いつき、後続を待っていたようだが、私が 12:26 に着いた時にはすでに出発した後だった。



←12:43 小野寺さん vs 堀さん 13:23→  
くしくも同じ場所で撮った写真。ちょうど 40 分差。  
剣ヶ峰北峰付近。



13:13 先行組は前武尊山頂に到達。

後続を待つが来ないので

13:27 オグナほたかスキー場へ下山。

13:50 にはオグナススキー場への分岐



13:50 同時刻に後続はまだ剣ヶ峰の巻き道。  
遅れていた堀さんと私が、先行する池戸さんに追いついた。

というか、池戸さんが休んでいた。

どうやらシャリバテらしい。

昼食があまり食べられなかったとのこと。

チョコレートで糖분을補給し回復を待つ。

ロッジ北澤に再度電話して迎えのバスをさらに 30 分遅らせ、15:30 にしてもらった。

堀さんには先に行ってもらう。



14:01 先行組はオグナススキー場にゴール。  
ほぼオンタイムだ。



でも迎えのバスはまだ来ていない！

14:02 池戸さんはチョコレートでエネルギー補給し、前武尊までなんとか登った。そこで再び大休止。

私は熊本さんと電話が通じないので、吉松さんに電話してみた。そしたら吉松さんは電話に出た！  
堀さんのミスコースと池戸さんのシャリバテで大幅に遅れ、  
バスの迎えを 14 時から 15:30 に変更したことを、やっと  
伝えることができた。

14:20 池戸さんは自分でもチョコレートを持ってきたことを思いだし、さらに食べたら元気が出てきて、オグナほたかスキー場に向かってまた歩き出した。  
私はこれなら 15:30 より早くオグナススキー場に戻れそうなので、再再度ロッジ北澤に電話してバスを 15:10 に早めた。



池戸さんはその後は元気を回復し、順調に下山。



15:09

迎えに来ていたバスにゴール！

これで全員揃ったと思いきや、今度はバスの中に熊本さんと吉松さんがいない！

聞くと 15:30 までこの場所で 1 時間半も待つのは小蠅やアブがうるさいので耐えられないとかで歩いて下山しているとのこと。





バスはスキー場の下の駐車場まで下りたが途中で熊本さんと吉松さんには会えなかった。どこを歩いているのか心配したが、堀さんが吉松さんに電話したら、スキー場を下りきって、ロッジに向かって歩いていることがわかった。ロッジへの道の途中で無事二人をピックアップできた。←道でハルゼミを拾ったのを見せてくれた。

その後ロッジ北澤に預けておいた、登山に不要な温泉セットなどを受け取り、温泉「花咲の湯」へ。

<http://www.hanasakunoyu.com/main/modules/tinyd1/>

50 分入浴で汗を流し、16:40 にまたロッジ北澤の送迎バスに来てもらい、沼田駅まで送ってもらった。

17:30 沼田駅着。

次の電車は 18:01 発。30 分ほどあるので、駅前のそば屋でうちあげ。

いろいろありましたが、梅雨時でも二日間とも好天に恵まれ、全員無事で花もしこたま堪能できたことに乾杯！



男性陣はざるそば、女性陣はマイタケ天ざる。

お腹も満足でした。

帰りの電車は普通電車でベンチシート。

恒例の車内宴会はちょっとムリで、おとなしく居眠りなどしながら帰りました。

ロッジ北澤さん

<http://lodgekitazawa.travel.coocan.jp/>

には、バス送迎の度重なる時間変更等でたいへんご無理をお願いしましたが、すべて対応していただき、心より感謝いたします。ほんとうにありがとうございました。

以上。

なお、当日の GPS 軌跡の記録を以下のヤマレコにアップしました。覗いて見てください。

<https://www.yamareco.com/modules/yamareco/detail-1179207.html>